

1 教育理念

〔教育理念〕 志を掲げ、自らの足で立ち、学問の翼で飛び立つ生徒の育成

- 高校時代は「自分の能力や特性を最大限に伸ばし、自ら掲げた志の達成に向けた土台を作る」時期
- 「志を掲げる」即ち、「こう在りたい」という明確な将来目標を持たせることで
 - ・将来職業を通して社会に貢献しようとする気概を育てる。
 - ・実現に向けた学習意欲を向上させ、主体的な学びを継続する姿勢を育てる。
- 学ぶことは何故生きるのか考えることに繋がる。学びを象徴的に表したのが「学問の翼」であり、様々な知識を糧に逞しく大きく羽ばたいていく生徒をイメージしている。

〔目指す生徒像〕

- (1) 自他を知り、社会を知ることで謙虚に学びを続ける生徒
- (2) 場と状況を把握し、マナーを守り、責任ある行動をとる生徒
- (3) 他を思い遣る心を持ち、共に学校行事や諸活動に積極的に取り組む生徒
- (4) 明確な進路目標を持ち、その実現に向け日々の努力を継続する生徒

2 平成29年度 基本目標

- (1) 生徒を伸ばす学習指導を推進する。
- (2) 心に響く生徒指導を推進する。
- (3) 自己実現を図る進路指導を推進する。
- (4) 教師力を高める研修の充実を図る。
- (5) 中高連携による教育活動の充実を図る。
- (6) 地域活性化の核づくり活動の充実を図る。

3 具体的な取り組み

- (1) 生徒を伸ばす学習指導
 - ①わかりやすい授業の工夫と展開により、基礎学力の定着を図る。
 - ②朝読書等の時間を活かすことで、学習への主体的姿勢を確立する。
- (2) 心に響く生徒指導
 - ①日常的な声かけなど生徒一人ひとりに寄り添うことで、自己肯定感を高める。
 - ②学校生活全般を通じて、生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。
- (3) 自己実現を図る進路指導
 - ①個人面接や体験学習を充実させることで、進路目標を明確にする。
 - ②資格取得対策や個別学習指導を通して、進路実現を図る。
- (4) 教師力の向上
 - ①中高連携の特色を活かすことで、発達段階に応じた指導力向上を図る。
 - ②日常的な互見授業を通して、互いに学び高めあう教育環境を醸成する。
- (5) 中高連携による教育活動の充実
 - ①中高合同での連携行事による交流を通して、互いに支え助け合う心を育成する。
 - ②中高合同で行う儀式や行事を通して、高校生としての自覚と誇りを高める。
- (6) 地域活性化への取組
 - ①「鳥海総合」や「地域学」の学習を通して、地域・郷土への関心を高める。
 - ②地域に根ざしたボランティア活動を展開し、地域住民との交流を深める。